

# 第30回 「巨木を語ろう」全国フォーラム

石川・金沢大会

# 大会概要

## 1. 日時

○平成29年 9月30日(土)

午前:全国巨樹・巨木林の会 総会(石川県文教会館) 10:00~12:00

午後:巨木を語ろう 全国フォーラム( " ) 13:00~16:30

夜 :交流会(テルメ金沢) 18:30~20:30

○平成29年10月 1日(日)~\*2日(月) \*能登コースは1泊2日

巨樹探訪・視察(5コース)

ア)金沢市内コース

2)金沢市内健脚コース(徒歩)

3)白山麓コース

4)加賀方面コース

5)能登半島コース(1泊2日)

## 2. 参加者数(目標)

総 会:150名

フォーラム:500名

交流会:200名

視 察:250名

# 大会概要

## 3. 主催

第30回 巨木を語ろう全国フォーラム石川・金沢大会実行委員会  
(一財)自治総合センター

## 4. 共催

全国巨樹・巨木林の会 (公社)国土緑化推進機構

## 5. 後援

環境省自然環境局生物多様性センター、林野庁近畿中国森林管理局、  
文化庁、石川県、金沢市 国連大学サステナビリティ高等研究所、  
(一社)日本樹木医会、(公財)石川県緑化推進委員会、ほか

## 6. 主管

石川県巨樹の会

## 【サブテーマ】

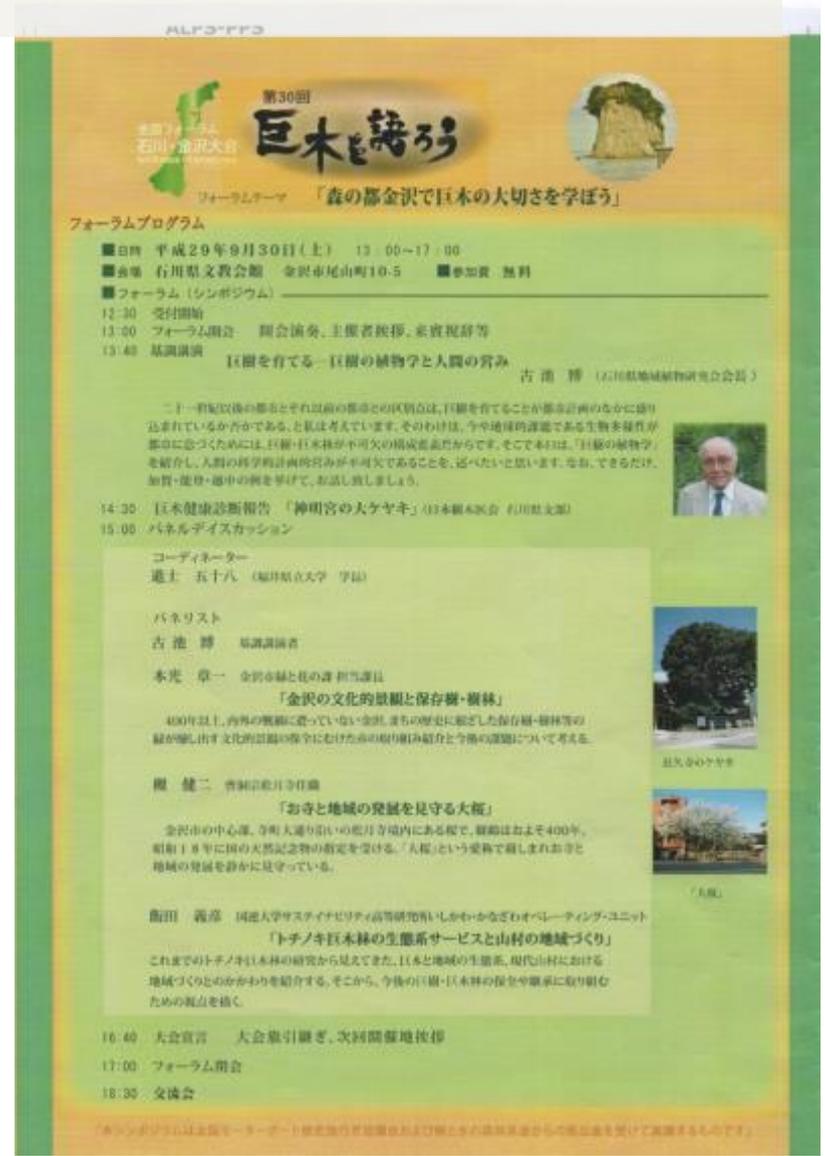
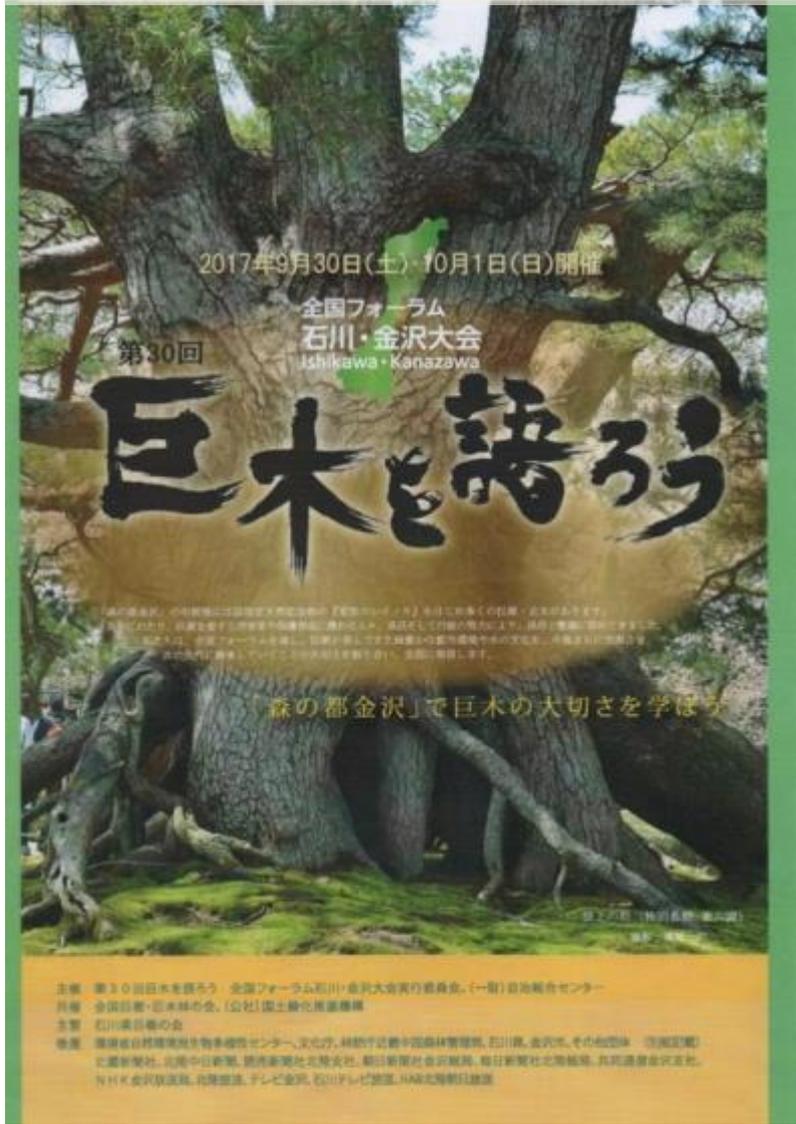
# 「森の都金沢」で巨木の大切さを学ぼう

「森の都金沢」の市街地には国指定天然記念物の「堂形のシイノキ」をはじめ多くの巨樹。古木林があります。

長年にわたり、巨樹を愛する所有者や保護育成に携わる人々、県民そして行政の努力により、保存と整備に努めてきました。

私たちは、全国フォーラムを通じ、巨樹が育んできた緑豊かな都市環境や木の文化を、今後さらに充実させ次の世代に継承していくことの大切さを語り合い、全国に発信します。

# 大会パンフレット



第30回「巨木を語ろう」全国フォーラム 石川・金沢大会

## フォーラム

時刻	時間	内 容
12:30	0:30	開場
13:00	0:13	オープニング(おんぼらーとアルプホルン金沢)
13:13	0:01	(舞台転換)
13:14	0:01	司会者登場 開会
13:15	0:05	挨拶(高木委員長、全国巨樹・巨木林の会 高橋会長)
13:20	0:05	祝辞(環境省、石川県知事)
13:25	0:05	歓迎の言葉(金沢市長)
13:30	0:05	来賓紹介
13:35	0:02	祝電紹介
13:37	0:03	日程案内
13:40	0:50	基調講演
14:30	0:02	(舞台転換)
14:32	0:18	巨木の健康診断結果報告
14:50	0:10	(休憩)
15:00	1:30	パネルディスカッション
16:30	0:03	(舞台転換)
16:33	0:07	大会宣言
16:40	0:05	大会旗引継
16:45	0:05	次回開催地挨拶(釧路市阿寒町)
16:50	0:05	閉会挨拶(濱野 副委員長)
16:55		閉会

# オープニングセレモニー



おんぼらーとアルプホルン金沢による  
アルプホルン演奏で来場者を歓迎

# 司 会

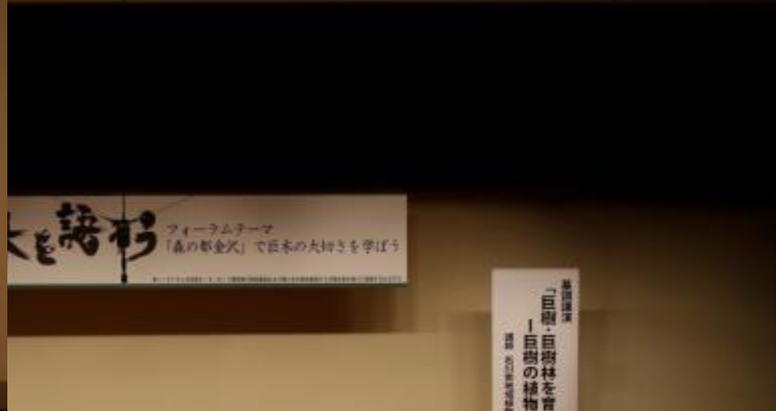


もりラバー林業女子会@石川 砂山 亜紀子

# 開 会 式



石川県巨樹の会 高木会長



全国巨樹・巨木林の会 高橋会長

主催者挨拶

第30回「巨木を語ろう」全国フォーラム 石川・金沢大会

# 閉会式

## 来賓祝辞



環境省 川越久史センター長

## 歓迎の言葉



金沢市 木谷弘司局長



石川県 片山健二農林水産部次長



# 基調講演



## ○巨樹巨樹林を育てる —巨樹の植物学と人間の営み

石川県地域植物研究会会長 古池 博 氏

二十一世紀以後の都市とそれ以前の都市との区別点は、巨樹を育てることが都市計画のなかに盛り込まれているか否かである、と私は考えています。

そのわけは、今や地球的課題である生物多様性が都市に息づくためには、巨樹・巨木林が不可欠の構成要素だからです。

そこで本日は、「巨樹の植物学」を紹介し、人間の科学的計画的営みが不可欠であることを、述べたいと思います。

なお、できるだけ、加賀・能登・越中の例を挙げて、お話し致しましょう。

# 巨木健康診断報告



「神明宮の大ケヤキ」健康診断報告

(一社)日本樹木医会石川県支部



上田博文  
樹木医



千木容  
支部長

# 巨木健康診断報告

## 「神明宮の大ケヤキ」 健康診断報告



(一社)日本樹木医会i石川県支部

# パネルディスカッション

「地域文化に深くかかわる巨樹・巨木林の役割について」



第30回「巨木を語ろう」全国フォーラム 石川・金沢大会

## 登壇者プロフィール

### 古池 博（ふるいけ ひろし）

基調講演、パネルディスカッション



1934年生まれ。金沢大学理学部卒業。石川県地域植物研究会会長、石川県環境審議会委員等を務める。専門は北陸地方や日本海周辺地域の植物地理・植生地理と地域の植学。元NPO法人石川県自然史センター理事長。石川県植物誌(1990)、石川県植生史(1997)等の著作があり、調査学術部門において環境大臣表彰(2008)、日本植物分類学会賞(2010)を受賞。

### 本光 章一（もとみつ しょういち）

パネルディスカッション



1967年生まれ。金沢市都市整備局緑と花の課担当課長。同課に通算14年在籍し、そのうち景観政策課を6年務め、景観法に基づく「金沢市景観計画」の策定に携わる。金沢の文化的景観を守るため、市が独自に指定する保存樹と保存樹林により、金沢市街地の緑豊かな文化的景観の醸成に努めてきた。

### 根 健二（ねやき けんじ）

パネルディスカッション



1967年生まれ。曹洞宗松月寺29代目住職。国天然記念物「松月寺の大桜（1943年指定、推定樹齢400年）」の所有者で先代住職から引き継いで日が浅いが、大桜の保全方策を模索し地域の人々と共に見守っている「桜の防人」である。昨年、道路に張り出した大枝が走行中の車により折損した事故があり、市街地における巨樹の保全の難しさや課題を実感している。

### 飯田 義彦（いいた よしひこ）

パネルディスカッション



1976年生まれ。国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所属。専門は景観生態学・地理学・緑化学。これまで樹林景観や緑地景観が持つ生態的、社会的な機能とその持続性に関する調査、研究を行ってきた。現在は地域の生態系を保全活用した社会づくりや国際的ネットワーク形成に貢献する活動を行っている。

パネルディスカッション コーディネーター

### 進士 五十八（しんじ いそや）



京都生まれ。福井県立大学学長、東京農業大学名誉教授（元学長）。専門は、ランドスケープ・アーキテクト（造園家）としての緑のまちづくり、園境学、自然共生社会と緑のまちづくりの研究で「内閣みどりの学術賞」や「茶経褒章」を受章している。著書は「緑のまちづくり学」など多数。石川県においても生物多様性推進政策から兼六園の保存の指導をしている。

# パネルディスカッション



＜コーディネーター＞

福井県立大学長  
進士 五十八 氏



古池 博 氏



本光 章一 氏



槻 健二 氏



飯田 義彦 氏

# 大会宣言



金沢市森づくり専門員  
河崎 仁志 氏

第30回  
巨木を語ろう

大会宣言

私たちが住んでいる、ここ石川県は、金沢を中心に北には能登半島を有し、南東には霊峰といわれる白山が聳え、日本海には対馬暖流が北上し、全域にわたって温暖なみどり豊かな自然環境にあります。

その恵まれた自然環境に広がる森林が県土を覆い、潤いのある森の都、金沢があります。県都金沢には今なお、まち中に巨樹が散在しております。

そのような石川県から私たちは、今、ここ、全国フォーラムの開催地、森の都金沢から全国に向けて高らかに、次のように大会宣言を発信いたします。

- 一つ みどり豊かな自然植生に生きる巨樹を維持、繁茂させ、地球環境の保全に努めよう
- 一つ 今なお残る都市景観の一翼を形成している巨樹を未来に永く残し、共生していこう
- 一つ 風雪に耐えた巨樹の姿から生活史の一端を学び、広く発表していこう
- 一つ 叡智に育まれた長い伝統を継承する薫り高い美しい木の文化を広げ、発展させよう
- 一つ 生物多様性に富む地域の自然環境を代表する地域特有の巨樹の森を創ろう

以上、私たちの思いが大きく輪となり、広がっていくことを願い、ここに宣言いたします。

第30回巨木を語ろう全国フォーラム石川・金沢大会

# 大会旗引継ぎ～次回開催地挨拶



〈大会旗引継ぎ〉  
高木会長→  
名塚釧路市副市長



名塚 昭 釧路市副市長

# 閉会の挨拶



**濱野一郎 大会実行委員会副委員長**

# 展示コーナー

- 石川県フォレストサポーター会  
F S会の活動状況の紹介



- (公社)石川の森づくり推進協会  
企業の森づくり活動の紹介



- 石川県巨樹の会  
日本巨樹見立番付の紹介  
(杉、檜、樺、桂、公孫樹、栗、栃、樟)



- 日本自然保護協会  
出版物や資料の紹介



# 会場のようす



第30回巨木を語ろう全国大会石川・金沢大会  
参加者集計表

29.11.21

	総会			フォーラム			交流会			探訪ツアー		
	事前	当日	合計	事前	当日	小計	事前	当日	小計	事前	当日	小計
石川県	38		38	121	241	362	40	8	48	76	1	77
県外	70		70	143	12	155	85	1	86	108	0	108
合計	108	0	108	264	253	517	125	9	134	184	1	185

全国大会参加者の比較

2017/10/1

	徳島つるぎ町			茨城県常陸太田市			青森県青森市			静岡県伊豆市	群馬県高崎市倉淵			香川県小豆島			埼玉県秩父市			石川県金沢市		
	2010			2011			2012			2013	2014			2015			2016			2017		
	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計		県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計
全国・総会									60	15	53	68	12	91	103			100	38	70	108	
フォーラム	448	152	600	1070	130	1200	350	150	500	260	125	96	221	250	120	370			300	362	155	517
ミニツアー											3	77	80									
プレツアー										20				0	25	25						
交流会	34	126	160			100			100	107	64	77	141	23	99	122	50	80	130	48	86	134
巨木ツアー	58	102	160			200			80	105	11	57	68	143	95	238			250	77	108	185
宿泊者			43			130			150		12	75	87	1	100	101				9	143	152

※前泊

# 堂形のシイノキ

